



ひなたぼっ

さくら号
Vol.344
(2022.3)

◆◆◆ 広報部より ◆◆◆

今年度の「ひなたぼっ」も最終巻となりました。今年一年光風園でも沢山のことがありました。いくつか掲載させて頂こうかと思っています。

やはり、ご家族や関係各所の皆様も無視できなかつたのはコロナウィルスではないでしょうか。光風園でも、ワクチン接種や想定訓練などの対策を講じました。ワクチンは副反応も心配されるなか接種希望のご利用者の方三回とも接種完了されました。想定訓練では、ご利用者のなかからコロナウィルス罹患者がでた想定で職員が行いました。各棟の職員はじめての試みということもあり、とても良い経験となりました。ご家族、関係各所の皆様にもコロナウィルス感染予防のため様々な制限をかけざるを得ませんでした。不便に感じられることも多々あったと思います。ご協力ありがとうございました。そして、引き続きご協力お願い致します。

現在、光風園では管理棟、はばたき棟につき厨房の空調工事を行っています。それに伴い、三月六日まで厨房が使用できない為に外注の弁当を提供させて頂いております。

食事の提供場所もはばたき棟は食堂からホールへ一時的に変更となっております。外注弁当ということもあり、特別感を感じておられるようでご利用者の皆様美味しそうに召し上がられています。





光風園訓練棟にて祈願祭を開催しました。新型コロナウイルスまん延防止の観点から今年は規模を縮小して行いました。各棟から代表された利用者により玉串拝礼を行っていただき、各棟の入口もご祈禱いただきました。今年1年皆様のご健康で過ごされますようにお祈り申し上げます。

祈願祭



通所部あゆみ・ほのぼので節分行事を行いました。鬼役と豆を撒く側に分かれ、大きな声で「鬼は外、福は内。」と言って豆を撒きました。短い時間でしたが、皆さん楽しんでおられました。

節分



プチ祭りとして、チョコバナナを作ってみんなと一緒に食べました。また余興として、太鼓を叩いて遊ぶ某有名ゲームをして楽しく遊びました。コロナ禍でなかなか外出ができない中でのお祭りに利用者もとても楽しんでおられました。

プチ祭り

